



大天使ガブリエル



聖母



大天使



ぼさつ



てんし



いやしの光を



北前舟

2016年9月1日～9月6日 絵師三戒堂 画業50周年個展



天国と地獄図



掲載している画像・イラストは待受け画像等で利用して頂いても大丈夫です



今週の展覧会は、三戒堂水宝先生による画業五十周年目を記念した、絵画展です。会場には四八点の作品が並び、中でも屏風に描かれた大作に目を奪われます。この作品は、截金の技法を用い制作されています。先生の作品は細かく描かれたものからデフォルメ（四歳の気持ちになつて描いたシリーズ）の天使が多く、表現の幅の広さを窺うことが出来ます。

宗教絵画（仏教やキリスト教等を含め）と挙げますと、決して混ざる事がないだろうといった先入観を持つて作品を観てしまいますが、今回の展示では、菩薩だけではなく天使や聖母マリアなども同様に描かれ展示されています。この二つの宗教（仏教とキリスト教）は相反するものであると思ひ込み信じて疑いませんが、正面の『天国と地獄図』を観ると根本的である「天国と地獄」という概念は共通したものであると気づかされます。また、宗教絵画というものは本来、読み書きが自由である人の為に描かれたと言つても過言ではありません。神々の心境を伝えようと迫力のある作品が多く存在するため、厳格なイメージを持ちますが、先生の描く宗教絵画は優しく、楽しい印象を抱く事が出来ます。



9月2日金曜日、明楽みゆきさんによるチェンバロのコンサートが開催されました。チェンバロとは、ピアノの始まりとされ、ハーブを横に倒した状態ともいえる楽器。現代のピアノよりも弦楽器の様な独特な音が響き、会場の観客を魅了しました。